

全国大会エクスカージョンツアー関西国際空港コース(ぶら・土木34)

～沈下とともに歩んできた海上空港、その闘いをみる～

開催報告

タイトル	全国大会エクスカージョンツアー関西国際空港コース(ぶら・土木34) ～沈下とともに歩んできた海上空港、その闘いをみる～
主催	株式会社JTB
特別企画	公益社団法人土木学会関西支部
協力	関西エアポート株式会社
日時	2022年8月20日(土) 13:00～17:00
参加者数	25名(うち学生・若手土木技術者(40才以下) 23名)

■はじめに

土木学会関西支部では、「つながる、伝える、育てる、育つ」をキーワードに、若手土木技術者の交流と技術力の向上を目的としたランチ活動“ぶら・土木”を展開しています。

本年度は令和4年度土木学会全国大会が関西で実施されることから、全国大会エクスカージョンツアーと銘打ち、『関西国際空港コース(ぶら・土木34)～沈下とともに歩んできた海上空港、その闘いをみる～』と題し、関西エアポート株式会社様の協力を得て、周辺環境に配慮した海上空港として建設され、今年で開港28年目を迎える関西国際空港で実施しました。

普段聞くことができない空港島建設から現在までの沈下との闘いの歴史等をたっぷり聞く座学と、現在進行中の第1ターミナルビルリノベーション工事の見学を通じて、新しく生まれ変わろうとしている関西国際空港を間近に体感いただく内容で、JTB主催のツアー(有料)として企画しました。

ぶら・土木の趣旨に則り、「若手技術者・土木を専攻する学生向け企画」とした募集したところ、全国(東京、愛知、福岡...)から多くの若手土木技術者・学生の参加がありました。

■関西国際空港での座学及び現場見学

座学では、ビデオやパワーポイントのスライドを使いながら関西エアポート株式会社の方から、関西国際空港の計画の経緯、同空港で沈下が発生している背景にくわえ、これまでの沈下対策や2018年の台風による被災状況とその対応についてご説明いただき、関西国際空港に関する理解を深めました。

今回は若手技術者・土木を専攻する学生向け企画であったため、専門性の高い説明となり、質疑応答の際には参加者から多くの質問がありました。

座学で理解を深めた後は、2班に分かれて、3つのテーマで見学しました。1.沈下・防災に関する見学では、航空機が行き交う空港の雰囲気を感じながらバスで移動し、南側の護岸及びタンカーバースで下車して護岸嵩上げ箇所や消波ブロック等を見学しました。2.ターミナルビルのジャッキアップに関する見学では、実際にジャッキアップされた柱や、ジャッキアップに対応するため工夫された配管や扉等を見学しました。3.第1ターミナルリノベーションに関する見学では、10月に供用開始を予定している新国内線エリアの工事現場を実際に見学しました。現場見学でも多くの質問があり、参加者の皆さまにはより理解を深めていただけたと思います。また、移動中のバスの車内では、関西エアポート株式会社の方が空港の豆知識等を織り込ませながらガイドをしてくださり、時折笑いが起こる楽しい移動時間となりました。

■ご参加の皆さまへ

この度は、全国大会エクスカージョンツアー『関西国際空港コース(ぶら・土木34)～沈下とともに歩んできた海上空港、その闘いをみる～』にご参加いただきありがとうございました。皆さまのご協力により、無事に見学会を終えることができましたこと、心より御礼申し上げます。

皆さまからいただいたご意見は、今後の学会行事や企画に活用させていただきます。

土木学会関西支部では、今回のような見学会を年に数回程度(小中高生対象、インフラツーリズム、ぶら・土木)企画しております。コロナ禍でなかなか実施できていませんが、開催できた折には、皆さまに再度お会いできることを楽しみにしております。

ご参加いただきありがとうございました！

■見学先関係者の皆さま

全国大会エクスカージョンツアー『関西国際空港コース(ぶら・土木34)』の開催にあたり、関西エアポート株式会社の皆様におかれましては、企画立案から事前準備、当日の安全管理、案内、誘導や各種設備などの説明に至るまで、様々なご配慮と多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。お陰様で安全で楽しいツアーを実施することができました。

今回は全国大会の企画ということもあり、遠方から多くの若手技術者が参加されていました。参加者からは、「勉強になった」「参加して良かった」等多くの感想をいただいております。参加者の皆様の今後の活躍につながる見学会になったと感じております。

今回のエクスカージョンツアーを無事に開催できましたこと、あらためて感謝申し上げますとともに、今後とも学会活動に、ご支援ご協力の程、宜しく願い申し上げます。